

# 日本情報考古学会第38回大会のご案内

日本情報考古学会第38回大会を下記の要領で開催いたします。意義ある大会としたいと考えておりますので、皆さまのご協力をお願い申し上げます。会員はもとより、関心をお持ちの研究者・学生・一般の方々も歓迎いたします。お誘いあわせのうえ多数ご参加くださいますよう、お待ちしております。

日本情報考古学会第38回大会実行委員会

期日： 2017年3月25日(土)・26日(日)

会場： 鹿児島国際大学（鹿児島県鹿児島市坂之上8丁目34-1）7号館1階 710  
JR坂之上駅（鹿児島中央駅から指宿枕崎線「喜入・山川行または枕崎行」で約20分）  
坂之上駅から大学まで車で約4分、徒歩約20分。詳しくは鹿児島国際大学HPよりご確認ください。  
<http://www.iuk.ac.jp/gaiyou/access/> 学会HPでもお知らせします。

特別講演

## 古人骨から南九州・南西諸島集団の成り立ちを探る

3月25日(土)  
16:10-17:10

講師 竹中正巳先生（鹿児島女子短期大学教授）

第1日 3月25日(土) 7号館1階 710 13:00 開始、17:10 終了

### 13:00-13:10 開会式 挨拶

研究発表 1 13:10-13:30 小豆島における大坂城残石の記録と活用—SfMを用いた文化財の三次元記録とその活用—

川宿田好見(同志社大学文化遺産情報科学研究センター)

研究発表 2 13:30-13:50 考古学から見たホモ サピエンスの日本列島への渡来と拡散 第2報  
植木 武(共立女子学園名誉教授)

研究発表 3 13:50-14:10 弥生土器製作素材の採取地の民族考古学的・考古科学的検討—九州の弥生土器、タイ、フィジーの例を中心に—

中園 聡(鹿児島国際大学)

研究発表 4 14:10-14:30 SfMによる土器調整痕の微細三次元形状計測の試み  
○太郎良真妃(鹿児島国際大学大学院)、中園 聡(同)

————— 休憩 ————— 14:30-14:40

研究発表 5 14:40-15:00 『難波丸』に書かれた商業・手工業生産からうかがえる近世大坂の町の特性  
杉本厚典(大阪歴史博物館)

研究発表 6 15:00-15:20 「母集団」の概念—土器遺物の産地問題の研究における分析化学—  
○三辻利一(鹿児島国際大学)、中園 聡(同)

研究発表 7 15:20-15:40 近畿地方の花崗岩類、土壌、粘土の地域差  
三辻利一(鹿児島国際大学)

研究発表 8 15:40-16:00 朝鮮系無文土器はどこで製作されたか—蛍光X線分析と偏光顕微鏡による既存データの再検討から—

○平川ひろみ(鹿児島国際大学大学院)、中園 聡(同)

————— 休憩 ————— 16:00-16:10

特別講演 16:10-17:10 古人骨から南九州・南西諸島集団の成り立ちを探る 竹中正巳先生  
(鹿児島女子短期大学教授)

懇親会 18:00～

第2日 3月26日(日) 7号館1階 710 10:00 開始、14:00 終了

研究発表 9 10:00-10:20 古墳時代の須恵器の産地推定法  
三辻利一(鹿児島国際大学)

研究発表 10 10:20-10:40 埴輪の生産・供給問題の研究法  
三辻利一(鹿児島国際大学)

研究発表 11 10:40-11:00 周辺地域におけるエスニック現象とその特性に関する検討—考古学的に観察できる現象とその解釈—  
平川ひろみ(鹿児島国際大学大学院)

11:00-11:40 考古学実験室機器見学(三次元スキャナ、蛍光X線分析装置等。解説付)

11:40-12:20 ポスターセッション解説

————— 休憩 ————— 12:20-12:50

研究発表 12 12:50-13:10 小豆島におけるパブリックアーケオロジーの実践(2)—持続可能な博物館活動の構築に向けて—  
川宿田好見(同志社大学文化遺産情報科学研究センター)

研究発表 13 13:10-13:30 ごく一般的な遺物の三次元計測・記録とその意義  
太郎良真妃(鹿児島国際大学大学院)

研究発表 14 13:30-13:50 中国東北地区における新石器時代土器の調査とSfMによる記録(2)  
楊 帆(鹿児島国際大学大学院)

14:00 閉会

ポスターセッション(第2日 11:40-12:20 ※掲示は両日)

研究発表 15 SfMによる三次元記録の実践—中世瓦積み井戸での実践を主な例として—  
太郎良真妃(鹿児島国際大学大学院)

研究発表 16 北タイの伝統的土器製作村における土器製作具の実態と所有意識  
平川ひろみ(鹿児島国際大学大学院)

研究発表 17 南九州における黒曜石とその産地—鹿児島県鹿児島郡三島村竹島の黒曜石—  
宮田大之((公財)鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター)

ハンズオン展示

北タイの伝統的土器作りと製作具  
考古資料の三次元記録とレプリカ—鹿児島県三島村—  
考古資料の三次元記録とレプリカ—香川県小豆島—

- 大会参加費（『日本情報考古学会講演論文集』Vol.18（通巻38号）込み）会員 2000円、非会員 3500円
- 懇親会は、第1日(土)終了後、18:00より予定。懇親会費 4000円を予定。(詳細は学会HPでお知らせいたします)
- 宿泊は、各自でご予約下さい。
- 当日参加も可能ですが、人数把握のため会員・非会員にかかわらずメールにて、「大会参加」「懇親会出席」について、事前に学会事務局までお知らせくだされば幸いです。archaeoinfoiuk@gmail.com
- 第2日(日)の昼食は、各自でご用意ください。  
なお、第1日(土)の受付時にも、翌日(第2日)の弁当の注文を承る予定です。
- 詳細・変更等は学会ホームページで逐次ご案内します。必ずご確認ください。http://www.archaeo-info.org/
- 大会に関するお問い合わせ等は、学会事務局まで必ずメールでお願いします(調査等で不在のため)。archaeoinfoiuk@gmail.com